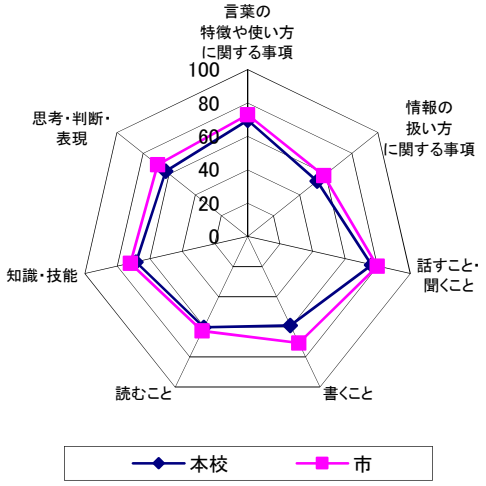
# 宇都宮市立雀宮南小学校 第６学年【国語】領域別／観点別正答率

## ★本年度の市と本校の状況

| | | 本年度 | | |
|---|---|---|---|---|
| | | 本校 | 市 | 参考値 |
| 領域別 | 言葉の特徴や使い方に関する事項 | 69.8 | 73.0 | 75.5 |
| | 情報の扱い方に関する事項 | 53.4 | 58.5 | 59.0 |
| | 話すこと･聞くこと | 76.3 | 79.8 | 75.9 |
| | 書くこと | 59.0 | 70.7 | 71.7 |
| | 読むこと | 60.3 | 62.8 | 62.5 |
| 観点別 | 知識･技能 | 68.6 | 72.0 | 74.4 |
| | 思考･判断･表現 | 62.8 | 69.0 | 68.5 |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |

※参考値は，他自治体において同じ設問による調査を実施した際の正答率。




## ★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの　●課題が見られるもの

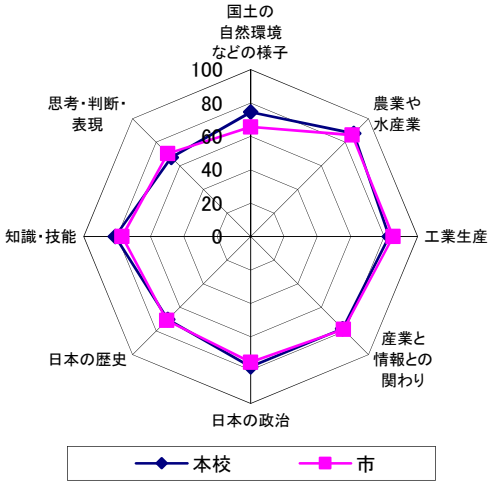
| 領域 | 本年度の状況 | 今後の指導の重点 |
|---|---|---|
| 言葉の特徴や使い方に関する事項 | 平均正答率は，市の平均より低い。<br>○正しい敬語の使い方を答える問題の正答率が高い。尊敬語や謙譲語の意味や使い方を確認し，日常生活の中でも敬語を用いてきた成果であると考えられる。<br>●同じ読みの漢字の使い分けを答える問題の正答率が低く，同音異義語に課題が見られる。 | ･同音異義語を正しく使い分ける力を育むために，日頃から意味調べなどで辞書に触れる機会を設け，言葉の意味を正しく理解できるようにしていく。また，短い作文を書く機会を多く設定するなど，漢字を使う機会を増やすようにしていく。 |
| 情報の扱い方に関する事項 | 平均正答率は，市の平均より低い。<br>●情報と情報との関係について理解し，目的に応じて文章を簡単にまとめて書く問題の正答率が低く，課題が見られる。 | ･資料を基にして要点をまとめる力を育むために，日頃から，新聞記事の内容を簡潔にまとめるなどの課題を設定するようにする。また，社会科や総合的な学習の時間で行う調べ学習でも，情報と情報の関係に着目できるような指導をしていくようにする。 |
| 話すこと・聞くこと | 平均正答率は，市の平均より低い。<br>○立場を明確にし，考えをまとめる問題の正答率は高く，様々な場面で話し合いや討論の機会を設けてきた成果であると考えられる。<br>●司会者の工夫を答える問題の正答率は低く，話合い全体の流れを捉えるという部分に課題が見られる。 | ･話合い全体の流れを捉え，司会者の立場で円滑に議論を進めたり，発言者として建設的な意見を述べたりする力を育むために，１つのテーマに対して複数の立場（賛成，反対，司会者など）で話合いに参加するような機会を設定するようにしていく。また，教師主導ではなく，児童同士で話し合う場を意図的に設定するようにしていく。 |
| 書くこと | 平均正答率は，市の平均より低い。<br>●話合いの中で出た意見を読んで，それに対する自分の考えを書く問題の正答率が低く，条件に合わせて文章を書くことに課題が見られる。 | ･与えられた条件（文字数や段落数など）に沿った文章を書く力を育むために，短作文の課題を出す際にいくつかの条件を提示するようにする。<br>･社会や理科の学習の時間に，資料から分かることや実験の考察などを自分で考えて書く時間を設定するようにしていく。 |
| 読むこと | 平均正答率は，市の平均より低い。<br>○説明文の構成や論の進め方を答える問題の正答率はやや高い。<br>●物語文において，人物の様子や心情を答える問題の正答率が低く，課題が見られる。 | ･物語文における，登場人物の様子や心情を捉える力を育むために，叙述に即し根拠をもって登場人物の心情を考えられるような指導をしていく。また，友達と考えを交流させることで，自分とは異なった視点に気付けるようにし，読みを深められるようにしていく。 |

# 宇都宮市立雀宮南小学校 第６学年【社会】領域別／観点別正答率

## ★本年度の市と本校の状況

| | | 本年度 | | |
|---|---|---|---|---|
| | | 本校 | 市 | 参考値 |
| 領域別 | 国土の自然環境などの様子 | 74.6 | 65.7 | 67.0 |
| | 農業や水産業 | 87.3 | 86.1 | 77.5 |
| | 工業生産 | 83.1 | 85.4 | 76.7 |
| | 産業と情報との関わり | 78.0 | 78.6 | 69.6 |
| | 日本の政治 | 78.0 | 75.2 | 65.8 |
| | 日本の歴史 | 70.1 | 71.1 | 69.1 |
| 観点別 | 知識・技能 | 81.2 | 77.0 | 72.8 |
| | 思考・判断・表現 | 67.2 | 70.3 | 64.5 |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |

※参考値は，他自治体において同じ設問による調査を実施した際の正答率。




## ★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの　●課題が見られるもの

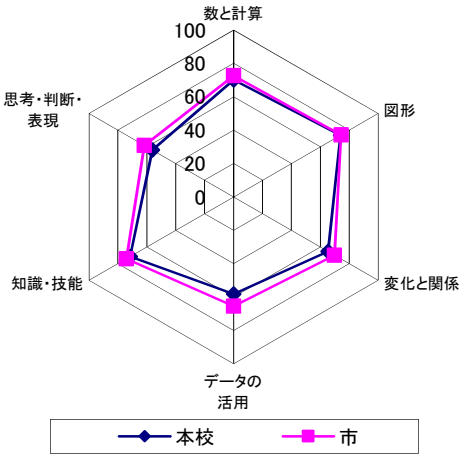
| 領域 | 本年度の状況 | 今後の指導の重点 |
|---|---|---|
| 国土の自然環境などの様子 | 平均正答率は，市の平均より高い。<br>○日本の周辺の海洋名を答える問題の正答率が高い。地図帳や白地図を使って学習した成果であると考えられる。 | ・引き続き地図帳や白地図を積極的に活用し，地名を単純に覚えるのではなく，具体的な場所をイメージできるようにする。 |
| 農業や水産業 | 平均正答率は，市の平均よりやや高い。<br>○米作りの作業の理解をもとに，資料を読み取る問題の正答率が高い。教科書や資料集に載っている写真やグラフ，表などの資料を活用しながら調べたりまとめたりする学習をしてきた成果であると考えられる。<br>●圃場整備の資料に着目して，米作りの生産効率について考える問題の正答率が低く，資料から読み取ったことを言葉で表現することに課題が見られる。 | ・資料から読み取ったことを言葉で表現する力を育むために，日頃から，資料から分かったことを言葉で書く場面を多く設定するようにする。 |
| 工業生産 | 平均正答率は，市の平均より低い。<br>●電気自動車について考え，ガソリンカーとの違いを答える問題の正答率が低く，2つの物事の違いを説明することに課題が見られる。 | ・2つの物事の違いを説明する力を育むために，日頃から，2つの物事の相違点や共通点に着目したり，因果関係や前後関係を考えたりする場面を多く設定するようにする。 |
| 産業と情報との関わり | 平均正答率は，市の平均よりやや低い。<br>○情報産業の役割や責任の大きさについて答える問題の正答率は市の平均とほぼ同じであった。<br>●情報の正しい受け取り方について答える問題の正答率がやや低く，情報モラルの定着に課題が見られる。 | ・情報モラルが身に付くように，日頃から，情報を発信する側，受け取る側の両方の立場で気を付けるべきことを考える場面を設定するようにする。 |
| 日本の政治 | 平均正答率は，市の平均より高い。<br>○国会の働きを答える問題の正答率は市の平均よりも高く，三権分立の図を使いながら国会の働きを確認したり，他教科でも法律の話題が出た際に国会の話題にしたりすることを意識した成果であると考えられる。<br>●裁判のしくみについて答える問題の正答率が市の平均よりも低く，言葉の意味や仕組みが作られた背景まで理解することに課題が見られる。 | ・単に言葉や仕組みの名前を覚えるようにするのではなく，授業の中で，その言葉の意味や仕組みの内容，その仕組みができた理由などにも触れるようにし，児童が理解できるようにする。 |
| 日本の歴史 | 平均正答率は，市の平均よりやや高い。<br>○人物のはたらきを答える問題の正答率は市の平均より高く，毎回の授業でミニテストを実施したり，人物のはたらきに着目できるゲームを実施したりした成果であると考えられる。<br>●現在の和室の様子から室町文化の特徴について捉えて表現する問題の正答率が市の平均より低く，歴史的な事象と現在の生活を結び付けて考えることに課題が見られる。 | ・歴史的な事象と現在の生活を結び付けて考える力が育むために，日頃の授業の中で，現在の生活と関係している事柄を積極的に取り上げていくようにする。また，教師から説明するだけでなく，児童が考えて書く場面を多く設定するようにする。 |

# 宇都宮市立雀宮南小学校 第６学年【算数】領域別／観点別正答率

## ★本年度の市と本校の状況

| | | 本年度 | | |
|---|---|---|---|---|
| | | 本校 | 市 | 参考値 |
| 領域別 | 数と計算 | 70.1 | 72.6 | 71.6 |
| | 図形 | 73.9 | 74.4 | 72.0 |
| | 変化と関係 | 65.4 | 69.8 | 62.6 |
| | データの活用 | 58.2 | 65.5 | 59.1 |
| | | | | |
| | | | | |
| 観点別 | 知識・技能 | 71.6 | 74.1 | 68.9 |
| | 思考・判断・表現 | 56.2 | 61.6 | 63.7 |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |

※参考値は，他自治体において同じ設問による調査を実施した際の正答率。




## ★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの　●課題が見られるもの

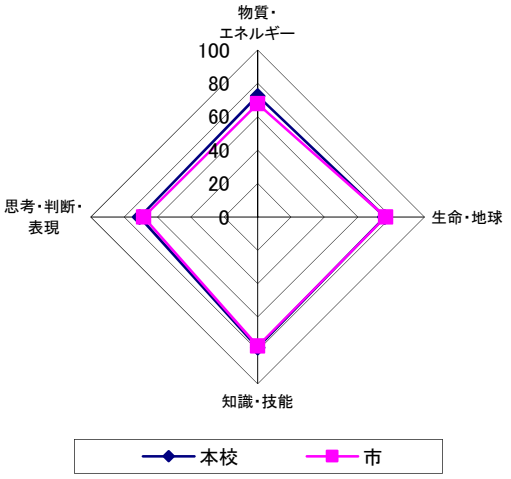
| 領域 | 本年度の状況 | 今後の指導の重点 |
|---|---|---|
| 数と計算 | 平均正答率は，市の平均よりも低い。<br>○分数の除法の文章題に合った図を選ぶ問題の正答率が高く，文章問題を図に表して場面を捉えてきた成果と考えられる。<br>●分数のたし算の正答率が低く，通分の考え方に課題が見られる。 | ・分数の和，差，積，商を求める練習問題を通して，通分や約分をする意味を理解することで，適切に計算処理を行うことができるようにする。 |
| 図形 | 平均正答率は，市の平均よりもやや低い。<br>○三角柱の展開図から見取り図の辺の長さを答える問題の正答率が高く，デジタル教材などを通して，立体図形の見方を養った成果と考えられる。<br>●直方体を組み合わせた図形の体積を求める問題の正答率が低く，複合図形の見方に課題が見られる。 | ・複合図形の面積や体積を様々な解き方で解く練習問題を行うことで，一方向からの見方だけではなく，多面的に図形を捉えられるようにする。 |
| 変化と関係 | 平均正答率は，市の平均よりも低い。<br>○道のりとかかった時間を使って時速を求める問題の正答率が高く，速度の考え方を説明する活動など用語の確認を取り入れてきた成果と考えられる。<br>●速度の異なる二人が同時にゴールするためには，道のりをどのように設定したらよいかを説明する問題の正答率が低く，自分の考えを説明することに課題が見られる。 | ・速度や道のり，時間を求めることに加えて，それらを使って問題を解決したり，解法を説明したりできるようにするために，言語活動の充実を図る。求め方を図で示すことに加え，その図が示していることを説明したり，立式した後に，その式が意味することを説明したりする活動を設定するようにする。 |
| データの活用 | 平均正答率は，市の平均よりも低い。<br>●様々なグラフの読み取りの正答率が低く，グラフの示す数値の意味を捉えたり，数値から読み取れることを考えたりすることに課題が見られる。特に，割合を示したグラフから，割合の数値を比較するだけでは，該当する人数の比較はできないということを説明することに課題が見られる。 | ・，もとにする量の大きさが違うとき，割合の大小と比べる量の大小は一致しないことを理解するために，割合の意味を再確認したり，グラフから読み取れることを考える活動を設定するようにする。 |
| | | |
| | | |

# 宇都宮市立雀宮南小学校 第６学年【理科】領域別／観点別正答率

## ★本年度の市と本校の状況

| | | 本年度 | | |
|---|---|---|---|---|
| | | 本校 | 市 | 参考値 |
| 領域別 | 物質・エネルギー | 72.5 | 67.8 | 64.1 |
| | 生命・地球 | 76.3 | 76.7 | 78.3 |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| 観点別 | 知識・技能 | 78.3 | 77.4 | 78.3 |
| | 思考・判断・表現 | 70.7 | 68.3 | 66.2 |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |

※参考値は，他自治体において同じ設問による調査を実施した際の正答率。




## ★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの　●課題が見られるもの

| 領域 | 本年度の状況 | 今後の指導の重点 |
|---|---|---|
| 物質・エネルギー | 平均正答率は，市の平均より高い。<br>○ろうそくが燃え続ける条件や火が消える理由を問う問題の正答率が高い。学習問題に対して予想や仮説を十分に立てたり，実験結果から考察したりする過程を重視してきた成果と考えられる。<br>●振り子の一往復する時間とおもりの重さの関係を調べるために必要な条件を考える問題の正答率が低く，条件制御の考え方に課題が見られる。 | ・観察や実験する際に，条件を制御して調べるという考え方を身に付けるために，条件に目を向け，変える条件や変えない条件を意識して観察実験の計画を立てるようにする。 |
| 生命・地球 | 平均正答率は，市の平均とほぼ同じ。<br>○葉の光合成について調べる方法や気体検知管の扱い方に関する問題の正答率が高い。実験方法を考える時間を十分確保してきた成果と考えられる。<br>●具体的な生物間における食物連鎖についての正答率が低く，学習した内容と身近な自然事象とを結び付けて考えることに課題が見られる。 | ・学習内容と身近な自然事象とを結び付けて考えることができるようにするために，学習したことが自然界で確認できる具体例を見付ける活動を設定するようにする。 |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |

# 宇都宮市立雀宮南小学校
# 学力向上に向けた学校全体での取組

## ★学校全体で，重点を置いて取り組んでいること

| 重点的な取組 | 取組の具体的な内容 | 取組に関わる調査結果 |
|---|---|---|
| 板書の工夫 | 年度初めに教職員に児童のノート作りにつながるように，板書の仕方についての共通理解を図った。教職員同士でお互いの板書を見せ合う機会を作った。 | めあて・まとめ・振り返りをノートに書く習慣が身に付き，「授業で分かったことを分かりやすくノートにまとめていると」答えた児童が多い結果となった。 |
| 学習習慣の定着 | 全学年共通で学習についてのきまりを根気強く指導した。月ごとの生活目標に学習に関する目標を入れ，児童への意識付けを図った。 | 「授業の始まりには席についている」「授業を集中して受けている」と答えた児童が多い結果となった。 |

## ★国・県・市の結果を踏まえての次年度の方向性

・家庭学習の習慣化を図るとともに，自分で課題を見つけ取り組めるようにしていきたい。
・学校と家庭において本を読む機会・時間を増やしていきたい。
・自己肯定感を感じられるような機会や環境作りに努めたい。
・タブレット導入に伴い，授業の中で有効活用し，学習意欲の向上と学力向上に努めたい。